

参考様式第1及び参考様式第2の別添3

漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	◆ C 5 - 10 - 3	事業名	(29)磯場資源回復事業												
事業概要	採介藻漁業資源回復事業														
<p>【事業目的】 宮古市の沿岸海域では、コンブやウニ等の採介藻漁業が盛んであるが、東日本大震災による津波によって海底の泥や砂が大規模に巻き上げられ、また陸からは多量の土砂等が流れ込む等したため、コンブ等の藻類の資源量が大きく減少、また、コンブ等の藻類（藻場）を餌場・生育場とするウニ、アワビ等の介類の資源量も大きく減少した結果、宮古市の採介藻漁業の生産量は、震災前の平成22年度の1,124tから平成28年度の384tに大きく落ち込んだままとされている。 本事業では、漁業者が行うことが可能な養殖したコンブの天然のコンブ漁場への移植手法を、漁業者との実証事業で確立し、ウニやアワビの餌場・生育場を確保することで、コンブ・ウニ・アワビの資源量・生産量の回復を図り、宮古市の採介藻漁業の復興を図るものである。</p> <p>【事業内容】 コンブ増殖の実証事業 養殖したコンブの天然のコンブ漁場への移植の手法を漁業者との実証事業により確立する。 ※実証事業終了後の施設の維持管理については、海域を漁場とする3漁協が受託し、漁業者自らが本事業で開発した手法を用い、コンブ・ウニ・アワビ増殖に取り組む。</p> <p>【基幹事業との関連性】 基幹事業で高台での住宅用地の整備や集落道の整備等、漁村コミュニティの再生に必要な施設の整備を行っているところであるが、漁村コミュニティの維持のためには地域の経済を支えている漁業の復興が必要不可欠である。 本効果促進事業で実施するコンブ・ウニ・アワビの増殖手法の確立は宮古市の採介藻漁業の復興を推進するものである。</p> <p>【事業年度】 平成30年度～平成32年度</p> <p>【事業費】</p> <table border="0"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>コンブ増殖の実証事業</td> <td>20,633千円（今回協議）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">（平成31年度は、平成30年度に購入した水中ドローンを使い観測）</td> </tr> <tr> <td>平成32年度</td> <td>コンブ増殖施設設置事業</td> <td>60,851千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>81,484千円</td> </tr> </table>				平成30年度	コンブ増殖の実証事業	20,633千円（今回協議）	（平成31年度は、平成30年度に購入した水中ドローンを使い観測）			平成32年度	コンブ増殖施設設置事業	60,851千円	合 計		81,484千円
平成30年度	コンブ増殖の実証事業	20,633千円（今回協議）													
（平成31年度は、平成30年度に購入した水中ドローンを使い観測）															
平成32年度	コンブ増殖施設設置事業	60,851千円													
合 計		81,484千円													
<p>※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業名ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。</p>															